

南シナ海の新たな火薬庫

漢和防務評論 20161002 (抄訳)

阿部信行

(訳者コメント)

南シナ海の人工島礁のなかで最大の海空軍基地 **Fiery cross island** (中国名：永暑礁) の建設状況について漢和の記事を紹介します。
同礁は南シナ海のど真ん中にあり、戦略的にも戦術的にも重要な位置にあります。この基地が完成すると、中国は南シナ海への防空識別圏を設定するであろうと漢和は予想しています。

KDR 香港特電：

中国は、南シナ海の **FIERY CROSS REEF** (中国名：永暑礁) 上に相当整った軍事施設を建設している。**KDR** は、最近新たに建設された 7 個の人工島礁の中で、この人工島礁が最大の海空軍基地になると判断している。2016 年 1 月の衛星写真を見ると、その規模の大きさが分かる。3000M の滑走路はすでに完成し、4 個の大型格納庫は、永興島に建設された幅 25M、長さ 34M の格納庫と同型で大きさも完全に同じである。これは“高新工程”で開発された対潜哨戒機、早期警戒機の格納庫の可能性がある。現在、各種施設が建設中であるが、多くの建築物は軍用である。この点は、中国国内に建設された海軍、空軍基地の各種建築物と比較すれば一目瞭然である。2 つのエプロンの長さは、535M、626M に達し、今後格納庫が建設され、戦闘機が進駐する可能性が極めて高い。このように大きなエプロンは、24 機 (1 個連隊) の戦闘機が駐機するには十分な広さがある。飛行場の周囲には十分な空き地があり、今後対空ミサイル陣地が建設されるのか？注目する必要がある。

KDR は、滑走路の外側に、米軍の **AN/FLR-9** に酷似した **HF/DF** 指向性アンテナを発見した。直径は 30M に達し、ベトナムのホーチミン市から測定した距離は 470KM である。この種の指向性アンテナは“戦略支援軍” (元の総参謀部 3 部) に属する可能性が極めて高い。5 個のレドームが飛行場に建設されている。これらは某種の対空、対海搜索レーダーの可能性はある。これらは当然民用ではない。

現在建設中の軍港には、すでに少なくとも 1 艘の揚陸艦が進駐していた。岸壁の長さは、それぞれ 710M、450M、310M であり、規模から判断すると、1 個空母艦隊が進駐できる。各種のヘリスポットも建設中である。

7 個の人工島礁の建設は習近平の直接許可を得て行われたと言われている。しか

も各軍兵種はそれぞれが島上に占有地を持っているという。島全体の東西方向の長さは 3.8KM、南北方向の最大幅は 1.2KM である。建築群の一部は形状が同じであり、大量の車庫が建設中である。一部の建築物は空軍の弾薬庫に酷似しているが未完成である。このような建築群は、中国が南シナ海に巨大な海空軍聯合基地を建設し、空の防空識別圏及び海面下の識別圏を設定する最後の準備を行っていることを示している。

以上

Fiery cross island (中国名：永暑礁)

